

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	気腔内散布は肺がん縮小切除における予後因子である
該当者	2004年5月1日から肺がんに対し外科治療を受けられた方
当院の研究責任者	呼吸器外科 塩野知志
研究代表者	呼吸器外科 塩野知志
本研究の目的	山形県立中央病院において肺がんに対し手術を行った方について、肺がん原発周囲の細胞塊がその後の予後に影響を与えるか解析する。
実施予定期間	2017年5月30日～2017年12月31日
研究の方法	この調査では、当院で2004年5月1日から肺がんに対し手術を行われた方のカルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、予後
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を2018米国胸部外科学会で公表します。その後は論文化する予定です。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	呼吸器外科 塩野知志 023-685-2626